

人権教育啓発情報誌

No. **139** 号

ひろげよう まほうの言葉 ありがとう



ひろげよう  
まほうの言葉  
ありがとう

標語：「ひろげよう まほうの言葉 ありがとう」

栃木市 大平隣保館

平成31年 3月発行

栃木市大平町新1305-3

TEL 43-6611



## 人権作文

### 「小学生だって 気持ちが伝われば…」

大平東小学校 六年

新村 にいむら

陽菜 はるな



私たち、六年生は、五月に修学旅行で鎌倉に行きました。一日目は別行動でしたが、そこでとても貴重な経験をしました。

私たちの班が狭くて人気の少ない路地を歩いていると、一人の外国人が携帯電話を持って落ち着かない様子で見かけました。声を掛

けようか班で相談し、みんなで声を掛けてみました。すると、その外国人は日本語が話せないらしく、英語

で携帯電話を見せながら何か質問してきました。携帯電話を見てみると、画面にはその日の朝、クラスで集合写真を撮った「鶴岡八幡宮」が映っていました。私たちはそこまでの場所が分かっていたので、知っている「ライト」や「レフト」などの英単語を使って案内をしました。

八幡宮の前まで一緒に行き、案内を終えると、その人が、

「アリガトウゴザイマス。」  
と、安心した様子で笑顔で感謝してくれました。

案内を終え、私たちが次の目的場所に向かおうとすると、今度は私たちが道に迷ってしまいました。仕方なく、行きたかったお店をあきらめ、駅に向かおうとしましたが、お店から駅までの地図しか持っていない

だったので周りの人に聞きながら行くことにしました。

教えてくれた人たちは、私たちに丁寧に道案内をしてくれたので、無事に駅までたどり着くことができました。駅に到着したとき、私はごくホッとしました。それと同時に、さつき鶴岡八幡宮まで案内した外国人が最後、笑顔だった気持ちがよく分かりました。知らない土地を歩いているだけでも不安な気持ちがあるのに、更に迷子になってしまっても心細くなります。そこで、親切にしてもらい、行きたかった場所までたどり着けたらとてもうれしいです。教えてくれた人に感謝の気持ちでいっぱいになるし、安堵の気持ちも出てくるなと感じました。

また、私たちには、外国語活動の学習として「大仏近辺で外国人に英語でインタビューする」という課題がありました。私は、「外国人は怖い」

というイメージがあり、気が進みませんでした。しかし、実際にインタビューしてみると、応じてくれた外国人夫婦はとても優しく、面白い人で、「外国人は怖い」というイメージはなくなりました。そして、思い込みや決めつけは良くないと学びました。

私はこれらことから、国や話す言葉が違っても、肌・瞳・かみの色が違って、相手に気持ち伝われば、小学生だって道案内をすることができるとし、外国の人ともコミュニケーションをとることだってできるのだと思いました。また、私のように知らない人のことを決めつけて、避けてしまう人がまだまだいると思います。それが人種差別にもつながっているのではないのでしょうか。世間のイメージにとらわれず、実際に関わり合うことで世の中から「差別」という言葉がなくなってほしいと思います。

## 「人を思いやる気持ち」

大平西小学校 六年



谷田部 愛咲  
やたべ あさき

私の母は一年ほど前、左足を骨折していました。私から見ているわかるように、母はとても不自由そうでした。松葉杖の生活を続けていく中で、母は色々な人の親切にふれたようです。

例えば、スーパーにいるときに店員さんがレジでカゴを運んでくれたり、習い事などの待ち時間では、一緒にいる人たちがいすを用意してくれたり、荷物を持ってくれたりなど

です。当時の気持ちを母に聞くと、「申しわけないけれど、やってもらえると助かる。」

と言っていました。また、「余計なことかもしれないけれど、困っている人がいたら助けてあげたい。」

とも言っていました。私も、よく考えてみれば同じようなことがありました。

ある日、スーパーのおそうざいコーナーで一人のおじいさんを見かけました。そのおじいさんは、おそうざい用の袋を持っていました。でも、袋のあけ口が分からず、困っていました。私は、その一部始終を見ていました。私は、袋のあけ口を知っていたけれど、すぐに声をかけることができませんでした。相手は知らない人だし、余計なお世話なんじゃないか、などと色々考えているうちに、そのおじいさんは袋ではなく

別のバックにおそうざいをつめて行ってしまいました。私はおじいさんに、声をかけるとおせっかいだと思われてしまうかもしれないから、声をかけることができませんでした。でも、一人でいるときに困っていたら、助けてもらえたほうが楽だと母は言います。知らない人にたずねたり、助けを求めることは、困っている人にとって勇気がいるもので、私もできないと思います。おじいさんは声をかけてほしかったのではないのでしょうか。私は後悔しました。

「あけ口はごこですよ。」

の一言が言えませんでした。私がおじいさんの立場だったらどうでしょう。考えてみると、はつきりわかったことがあります。それは、人もよるかもしれないけれど、おせっかいなんかではない。絶対に、一言声をかけてもらったほうが助かる。そして私は、今後、どのように行動

するかを考えました。

これから、だれかが困っている場面にそうぐうすることは小さなこともふくめると、たくさんあると思います。だから私は、障がい者だけではなく健常者にも、どんなに小さなことでも、困っているのではないかと感じたら、一言声をかけてあげたいです。

また、私が感じた「後悔」は、決して悪いものではなく、人を思いやる気持ちから生まれたものだと思います。これからも、人を思いやる気持ちをもって生活したいです。そして、たくさんの方が人を思いやることができる世の中になってほしいです。



## 『こころのまど』発刊のご案内

大平地域内の小・中学校の児童・生徒の皆さんの人権作文・標語・書道をまとめた人権作品集『こころのまど』を発刊しました。

多くの方が『こころのまど』の作品に触れることにより、人権の問題や人に対する思いやりの心を改めて考えていただけたら、幸いに思います。

希望する方は、どうぞお気軽に大平隣保館事務室までお声をかけてください。





◎『人権を考える市民の集い』

2018』を開催しました

12月8日(土)に栃木文化会館において、「人権を考える市民の集い2018」を開催しました。

日本ギニア友好協会広報官、オスマン・サンコン氏を招いての講演「みんな違ってみんないい」をメインに、市内小学生の人権書道や人権絵画コンテストの入選作品等をホワイエにて展示し、オープニングでは栃木女子高等学校コーラス部による合唱が行われました。



栃女コーラス

オープニングの様子



絵画



書道

子どもたちの人権作品



オスマン・サンコン氏のユーモアあふれる講演



## 新春書き初め会を開催しました

新年を迎えて間もない1月5日（土）大平隣保館において、幼稚園の年長さんから中学2年生までの児童・生徒が、大平隣保館自主書道の石原先生と教室の皆さんの指導の下、真剣にそして楽しく書き初めをしました。



～みんな真剣です～



～じょうずに書けました～

3月10日に開催しました、りんぼかんまつりについては、次号にて詳しく報告します。



～昨年の様子～



### 【隣保館事業報告】

#### ◎「草花をアレンジしよう」 短期講座を開講しました

とちぎ花センターから講師を迎え、寄せ植えや草木染め、クリスマスリース作りをしました。  
皆さんお気に入りのものができあがり、大変満足いただけました。



#### ◎人権講話の実施



大平隣保館をご利用の各自主サークルの皆様にも人権啓発指導員による「人権講話」を行いました。様々な人権問題について改めて考えて頂くきっかけにしたいだけだと思います。

### 人権三法が施行されています

平成28年に人権に関する法律が施行されました。栃木市では、お互いの人権を尊重し差別や偏見のない社会を築くために、講演会の開催や啓発活動を行っています。

- 障害者差別解消法 (障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律)  
合理的配慮を提供し社会的障壁を無くすことにより、障がいのある人もない人もお互いを尊重し合いながら、共に生きる社会を実現することを目指しています。
- ヘイトスピーチ解消法 (本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取り組みの推進に関する法律)  
本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消が喫緊の課題であることから、その解消に向けた取組について、基本理念を定め、国等の責務を明らかにするとともに、基本的施策を定め、推進しようとするものです。
- 部落差別解消推進法 (部落差別の解消の推進に関する法律)  
現在もなお存在する部落差別は許されないものであり、国及び地方公共団体が連携し、国民一人一人が理解を深めるよう努めることにより、部落差別のない社会を実現することを目指しています。



一人権啓発活動

平成30年度の人権週間に合わせて、いろいろな啓発活動が行われましたので、一部を紹介します。

◎『盲導犬体験学習』

11月15日に大平中学校、12月3日に栃木西中学校、12月5日に吹上中学校の体育館を会場に、公益財団法人東日本盲導犬協会による盲導犬体



験学習が、中学生を対象に行われました。

最初に盲導犬の訓練士の方から盲導犬利用者と盲導犬についてのお話を聴き、その後アイマスクを付け、盲導犬の誘導に従いながら、障がい物を避けて決まったコースを歩行する体験学習をしました。この体験を通して、目が見えないことがどれほど不安なのかを身を持って感じ、視覚障がい者のパートナーとしての盲導犬の重要性を実感することができました。

◎人権擁護委員による

『お話会(人形劇)』

人権擁護委員の方々による「お話会」が、12月10日に大平みなみ幼稚園、12日にはこのもり保育園、ふじおか幼稚園、18日に大平中央保育園、20日にアルス幼稚園にて行われました。



人形劇をみている園児たち

## 集会所事業

栃木・大平・藤岡・岩舟の各集会所では高齢者から子供向けまで、いろいろな教室を開催しました。

藤岡富吉集会所では、定期利用者、地元自治会、部落解放同盟栃木市協議会の皆さんと子どもたちが一緒になごも、もちつきなどを体験し、みんなでおいしくいただきました。



### ◎藤岡集会所「こどもの広場」



藤岡の都賀・富吉集会所で開催の「こどもの広場」の講座では、12月に「思い出ペン立て」作りを行いました。牛乳パックを使ったペン立てに思い出の写真を貼ったり、自分の好きな絵を描いたりしました。牛乳パックをカッターで切る際は、上級生が下級生分まで切ってあげるなど協力しながら思い思いのペン立てを作ることができました。

### ◎大平伯仲集会所「女性教室」

大平の各集会所で開催している「女性教室」では、受講者の皆さんが年度当初に学習テーマを決め、いろいろな実習・実技・研修に励んでいます。

12月に伯仲集会所では、年末恒例の生け花実習を行い、正月に花を添えることができました。



# 厚生センターからの活動報告

## 【冬の交流事業】

12月22日(土)、毎年恒例の小学生を対象にした冬の交流事業を実施しました。たくさんのお友だちの参加があり、手作りスノードーム作り、本の読み聞かせ会、昼食会、輪投げ大会、やさしい人権のお話し、ビンゴ大会、などで楽しい時間を過ごしました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



## 【炭酸まんじゅう作り】

12月27日(木)、厚生センター柏崎所長が講師を務め、午前と午後の部ともに全員参加での実施になりました。受講生の皆さんは和気あいあいの中で炭酸まんじゅう作りに挑戦。出来上がりは上々。時々湧き上がる歓声に手作りの醍醐味を味わいました。自作のまんじゅうをお土産に講座は終了となりました。受講生の皆さんお疲れ様でした。今度はぜひご自宅で作ってみてくださいね。



## 栃木地域集会所合同学習発表会のお知らせ

厚生センターでは、地域交流・世代間交流を目的に、毎年、参加者の方と素敵な楽しい講座・イベントを実施しております。

平成30年度は、

- ・布ぞうり作り（12、3月開催）
- ・夏の交流事業（8月開催）
- ・地域交流研修会（国立ハンセン病資料館外 9月開催）
- ・はじめての炭酸まんじゅう作り講座（12月開催）
- ・冬の交流事業（12月開催）
- ・読み聞かせ学習会（2月12、19、26日3日間の連続開催）
- ・読み聞かせ会（「ほんとあそぼう」2月開催）を行いました。

平成31年度についても、たくさんの方と楽しめる講座や交流会を計画しております。

詳細については、市の広報やホームページでお知らせをいたします。

是非ご覧いただきご参加ください。



■厚生センター 栃木市旭町9-7 ☎24-2444



### 隣保館相談事業

大平隣保館では、市民を対象に日常生活における様々な困りごとに関する相談を常時受付けております。

どこに相談したらよいのか分からない場合でも、お気軽にご相談ください。隣保館で対応するほか、ご相談内容に適した関係機関等をご紹介します。



### 法律相談

2か月に1回、日常生活における法律全般に関する困りごと等について、弁護士の方が相談に応じます。

今後の相談日は次のとおりです。相談は予約制ですので、希望される方は事前に大平隣保館へご連絡ください。

#### ◎開催日

5月16日(木)  
7月18日(木)

午前10時～12時まで

※相談時間は20分です。

### 日本語講座

大平隣保館では、外国人を対象とした日本語講座を開講しています。特に予約は必要ありません。料金は無料です。ぜひご利用ください。

#### ◎講座開催日・時間

原則として第1・第2土曜日

午後8時～10時まで

※夜間入口は通常開館時の入口と異なりますので、新規の方は事前に事務局にお問い合わせください。

### お詫びと訂正

こだま138号(平成30年11月発行)3ページに掲載した人権作文『「虐待」について考えるということ』の作者を「中田真由花」と表記しましたが、正しくは「中田真結花」さんでした。

訂正し、お詫びいたします。

表紙絵 絵手紙作家 根本晴夫さん  
標語 大平西小学校5年 椎名輝星さん

## 生活相談や困りごとは大平隣保館へ

電話でのご相談はフリーダイヤルで

よろしく なやみなし

# 0120-46-7830

(平日午前8:30から  
午後5:00まで)

